

**平成 30 年三重県議会定例会
予算決算常任委員会 総務地域連携分科会説明資料
目 次**

◎議案補充説明

- 1 議案第 150 号 平成 30 年度三重県一般会計補正予算（第 1 号）
【地域連携部関係】について
- 2 議案第 190 号 平成 30 年度三重県一般会計補正予算（第 2 号）
【地域連携部関係】について 1

◎所管事項

- 1 平成 31 年度当初予算要求状況【地域連携部関係】について 7

平成 30 年 12 月 11 日
地域連携部

(議案補充説明)

- 1 議案第 150 号 平成 30 年度三重県一般会計補正予算 (第 1 号)
【地域連携部関係】について
- 2 議案第 190 号 平成 30 年度三重県一般会計補正予算 (第 2 号)
【地域連携部関係】について

平成 30 年度 12 月補正予算 (第 1 号・第 2 号) 【地域連携部関係】

(単位：千円)

区 分	補正前の額	今回の補正額			補正後の額
		補正予算 (第 1 号)	補正予算 (第 2 号)	合 計	
第 2 款 総務費	10,634,986	158,155	12,052	170,207	10,805,193
合 計	10,634,986	158,155	12,052	170,207	10,805,193

平成30年度一般会計補正予算(第1号)主要項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	補正後の 予算額	補 正 の 概 要
一般会計 (第2款)		10,634,986	158,155	10,793,141	
総務費 (第6項)		10,634,986	158,155	10,793,141	
地域振興費 (第1目)		7,903,281	111,549	8,014,830	
地域振興費		4,350,341	124,953	4,475,294	
	給与費				
	人件費	2,601,876	167,406	2,769,282	所要額精査による増
	伊勢志摩であい交流スクエア整備事業費				
	伊勢志摩であい交流スクエア整備事業費	128,226	△ 20,174	108,052	入札差金の発生に伴う減
	木曾岬干拓地整備事業費				
	木曾岬干拓地整備事業費	990,136	△ 22,632	967,504	事業内容の精査等による減
(第3目) 情報対策費		1,058,753	△ 16,603	1,042,150	
	情報ネットワーク及び行政情報システムの整備と適正な運用事業費				
	電子県庁総合システム運用管理費	281,994	△ 11,974	270,020	入札差金の発生に伴う減
(第7項) 選挙費 (第4目)		471,679	△ 74,058	397,621	
知事選挙費		259,293	△ 33,889	225,404	
	知事選挙費				
	知事選挙市町等交付金	223,464	△ 31,422	192,042	交付金の一部を各市町の予算計上年度に合わせることによる減
(第5目) 県議会議員 選挙費		160,067	△ 38,798	121,269	
	県議会議員選挙費				
	県議会議員選挙市町等交付金	128,714	△ 36,523	92,191	交付金の一部を各市町の予算計上年度に合わせることによる減
(第12項) スポーツ推進費 (第1目)		2,260,026	120,664	2,380,690	
スポーツ推進費		1,457,142	171,735	1,628,877	
	第76回国民体育大会開催準備事業費				
	第76回国民体育大会開催準備事業費	567,739	26,632	594,371	国体ボート競技で使用する規格艇の整備等による増
	体育スポーツ振興基金積立金				
	体育スポーツ振興基金積立金	333,915	146,972	480,887	法人県民税超過課税の税収見込みの増額等による増
(第2目) スポーツ施設費		802,884	△ 51,071	751,813	
	スポーツ施設整備運営費				
	三重交通Gスポーツの杜伊勢事業費	252,511	△ 33,561	218,950	国の予算割り当ての減額等に伴う減
	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿事業費	417,955	△ 12,866	405,089	入札差金の発生に伴う減

平成30年度一般会計補正予算(第2号)項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	補正後の 予算額	補 正 の 概 要
一般会計 (第2款)		10,793,141	12,052	10,805,193	
総務費 (第6項)		10,793,141	12,052	10,805,193	
地域振興費 (第1目)		8,014,830	11,918	8,026,748	
地域振興費		4,475,294	11,918	4,487,212	
	給与費 人件費	2,769,282	11,918	2,781,200	人事委員会勧告に基づく給与改定に伴う人件費の増
(第7項)					
選挙費 (第1目)		397,621	134	397,755	
選挙管理委員会費		42,782	134	42,916	
	選挙管理委員会総務費 人件費	35,877	134	36,011	人事委員会勧告に基づく給与改定に伴う人件費の増

※補正前の額には、第1号補正予算額を含んでいます。

平成30年度三重県一般会計補正予算(第1号) 繰越明許費一覧表

(単位:千円)

事業名	繰越額	説明
[木曾岬干拓地整備事業費] 木曾岬干拓地整備事業費	125,280	平成30年9月4日の台風21号で排水機場が被災し、機器の点検等に日数を要したことから、除塵設備改修工事の工期の確保が困難となったため。
[第76回国民体育大会開催準備事業費] 第76回国民体育大会開催準備事業費	27,038	国体ボート競技で使用する規格艇の整備について、年度内の完了が見込めないため。

平成30年度一般会計補正予算(第1号) 主な債務負担行為一覧表

(追加)

事 項	期 間	限度額
		千円
三重県情報ネットワーク等におけるデータセンターの使用に係る契約	平成30年度～ 平成31年度	57,427
共通機能基盤(統合サーバ等)のデータセンター利用に係る契約	平成30年度～ 平成31年度	11,459
電子申請・届出システム運用保守業務委託に係る契約	平成30年度～ 平成31年度	17,887
三重県情報ネットワークアクセスポイントの利用に係る契約	平成30年度～ 平成31年度	44,472
東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致等推進事業に係る契約	平成30年度～ 平成31年度	14,552

1 平成31年度当初予算要求状況【地域連携部】について

(1) 施策別要求状況

(単位:千円)

施策番号	施策名	H31当初 要求額	H30当初 予算額
241	競技スポーツの推進	4,345,119	1,863,248
242	地域スポーツと障がい者スポーツの推進	528,552	396,778
251	南部地域の活性化	16,161	20,115
252	東紀州地域の活性化	125,721	395,174
253	中山間地域・農山漁村の振興	19,696	20,112
254	移住の促進	37,336	37,781
256	市町との連携による地域活性化	2,569,194	2,225,258
352	公共交通の確保と活用	481,702	964,720
354	水資源の確保と土地の計画的な利用	737,089	579,364
行運6	情報システムの安定運用	1,350,831	1,058,753
	行政委員会	1,641,952	434,405
	人件費	2,757,630	2,639,124
	交際費	154	154
地域連携部 合計		14,611,137	10,634,986

H31 - H30 = 3,976,151

241 競技スポーツの推進

①(一部新) 競技力向上対策事業【基本事業名：24101 競技力の向上】

予算額：(30) 340,000千円 → (31) 772,885千円

事業概要：平成31年度の目標である男女総合成績10位以内を獲得するため、ターゲットエイジ（三重とこわか国体において少年種別の選手となる年齢層）を中心としたジュニア・少年選手の育成・強化、トップアスリートの県内定着やその環境整備など、各競技団体の現状に即した効果的な強化対策に着実に取り組むとともに、三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得を確実なものとしていきます。

また、平成30年度から開始した「チームみえ・コーチアカデミーセンター」の取組の充実を図ります。

②三重とこわか国体・三重とこわか大会開催準備事業

【基本事業名：24102 国民体育大会の開催準備の推進】

予算額：(30) 581,168千円 → (31) 839,130千円

事業概要：市町や競技団体等さまざまな方と連携し、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備を着実に進めます。広報では、イメージソングやダンスを活用し、広報ボランティアとともに、これまで以上に広報活動を展開します。また、多くの方に両大会を支援していただきたいため、とこわか運動（県民運動）の取組促進や募金・企業協賛の取組を進めます。あわせて、三重県らしさを盛り込んだ開・閉会式の式典に向けて検討を重ねるとともに、選手や監督等が安心して競技に臨めるよう、市町における施設整備への支援、宿泊施設の確保や輸送・交通対策に取り組めます。さらに、両大会をスムーズに運営できるよう、競技役員や手話通訳等の情報支援ボランティアを養成するほか、新たに運営ボランティアの募集を始めます。

③三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業

【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(30) 417,955千円 → (31) 552,214千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、施設・設備の改修等を行います。

④三重交通G スポーツの杜 伊勢事業

【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(30) 252,511千円 → (31) 125,905千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、施設の改修等にかかる設計業務を行います。

⑤県営松阪野球場事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(30) 30,532千円 → (31) 24,778千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、施設の改修にかかる設計業務を行います。

⑥県営ライフル射撃場事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(30) 731千円 → (31) 24,406千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、施設の改修等を行います。

242 地域スポーツと障がい者スポーツの推進

- ①地域スポーツ推進事業【基本事業名：24201 地域スポーツの活性化】
予算額：(30) 40,881千円 → (31) 40,194千円
事業概要：県民の皆さんがスポーツを「する」「みる」「支える」ための機運の醸成を図るため、みえのスポーツフォーラムの開催などスポーツ推進月間における取組を行うとともに、総合型地域スポーツクラブに対する効果的な支援やスポーツ関係団体が行う事業の支援等を行います。
- ②地域スポーツイベント開催事業
【基本事業名：24201 地域スポーツの活性化】
予算額：(30) 15,584千円 → (31) 16,615千円
事業概要：県民の皆さんがスポーツに親しむ機会の充実を図るため、引き続き、みえスポーツフェスティバル及び美し国三重市町対抗駅伝を開催します。
- ③スポーツを通じた地域の活性化支援事業
【基本事業名：24201 地域スポーツの活性化】
予算額：(30) 6,398千円 → (31) 343千円
事業概要：市町等のスポーツによる地域活性化の取組を支援するとともにみえのスポーツ応援隊を運営し、県内のスポーツイベントの開催を支援します。また、Jリーグクラブ誕生をめざし調査研究等を行うとともに、関係者が進める検討に参画していきます。
- ④(新)東京オリンピックに向けた「オール三重」推進体制構築事業
【基本事業名：24201 地域スポーツの活性化】
予算額：(30) - 千円 → (31) 31,460千円
事業概要：県内のスポーツへの機運醸成や地域活性化、人材育成を図るため、東京オリンピック事前キャンプ地誘致実現に向けて、関係市町等と連携して誘致活動に取り組むとともに、カナダアーティスティックスイミングチームのキャンプ実施に合わせて、「カナダ応援事業」を実施します。また、聖火リレーについて、県内市町ほか関係機関等と連携し、本県独自の「出発式」「ミニセレブレーション」等聖火リレーの運営準備を進めます。

251 南部地域の活性化

①豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツまるごとPR事業

【基本事業名：25101 住み続けたいくなる取組】

予算額：(30) 1,700千円 → (31) 1,750千円

事業概要：複数市町が連携して行う、南部地域の豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツの魅力を発信することで誘客促進や産業振興等を図る取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。

②地域インターン推進事業【基本事業名：25102 戻りたくなる取組】

予算額：(30) 2,650千円 → (31) 1,531千円

事業概要：複数市町が連携して行う、南部地域の小規模事業者等を対象としたインターンシップを実施することでU・Iターン就職を促進する取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。

③選ばれる南部地域を目指して推進事業

【基本事業名：25103 暮らしたくなる取組】

予算額：(30) 7,936千円 → (31) 10,622千円

事業概要：複数市町が連携して行う、都市部で暮らす人が南部地域でいきいきと生活する人と交流するイベントや実際に地域を訪れるツアーなど、南部地域の定住に向けた取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。

また、南部地域に想いを寄せる関係人口と地域との継続的なつながりづくりを促進する「度会県」の取組を進めます。

さらに、地域おこし協力隊等を対象に初任者研修や実践的な研修を行うとともに、隊員の任期終了後の定住・定着を促進するため、OB・OGを含めた隊員のネットワーク化に取り組みます。

252 東紀州地域の活性化

①東紀州地域振興推進事業

【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】

予算額：(30) 4, 029千円 → (31) 3, 655千円

事業概要：東紀州地域振興公社において、地域と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進し、地域の活性化につなげます。

②東紀州地域集客交流推進事業

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 353, 703千円 → (31) 69, 570千円

事業概要：熊野古道センターにおいて熊野古道を核とする企画展や地域と連携した交流イベントの開催等を行うとともに、指定管理者選定委員会を開催し次期指定管理者を選定します。また、紀南中核的交流施設については地域との連携を強化し、集客交流の拡大を促進します。

③(一部新)世界と結ぶ東紀州インバウンド事業

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 1, 342千円 → (31) 9, 380千円

事業概要：世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を有する三重県・奈良県・和歌山県が連携して大都市圏でのシンポジウムや三県を巡るスタンプラリーなどの誘客促進に取り組むとともに、インバウンドを県内外から東紀州地域へ周遊させる取組を行います。また、愛知県、岐阜県等と連携し、東京オリンピック・パラリンピックなどを見据えて、海外の富裕層をターゲットとした情報発信・誘客促進に取り組めます。

④熊野古道活用促進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 18, 435千円 → (31) 13, 182千円

事業概要：熊野古道セミナーの開催など東紀州地域の魅力を発信するとともに、伊勢路ナビやスマホ向けスタンプラリーなど伊勢から熊野までの観光スポットを紹介つなぎます。また、インバウンド向けの情報発信や受入体制を整備し、国内外から熊野古道をはじめ東紀州地域への誘客を促進します。

⑤世界に拓く東紀州観光地域づくり支援事業

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 5, 855千円 → (31) 4, 969千円

事業概要：東紀州地域の市町等が連携して行うインバウンドを軸とした観光地域づくりの取組を促進するため、外国人アドバイザーによる新たな魅力の発掘、観光案内所等の外国語対応の充実等を図るとともに、こうした観光地域づくりを担う観光専門人材の育成等を支援します。

⑥(新)熊野古道世界遺産登録15周年事業

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) ー 千円 → (31) 10, 000千円

事業概要：15周年記念イベントを開催するとともに、自然体験、歴史文化体験など東紀州地域内外の人が参加できる「熊野古道ウィーク」の設定により、市町や関係団体が様々な事業を集中的に展開し国内外からの誘客を促進します。また、期間中に子どもたちによる熊野古道各峠のリレーウォークを実施し、古道をはじめとする東紀州地域のファンとなってもらうことを目指します。

⑦(新)地域の誇り次世代継承プロジェクト事業

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) ー 千円 → (31) 5, 000千円

事業概要：熊野古道や周辺地域の豊かな自然、歴史、文化等の価値を次世代に継承するため、東紀州地域の小・中学生が地域に古くから伝わる技術や伝統を体験したり、地元高校生が地域の魅力を発掘し外国人等を対象にツアーを企画する取組を行います。

⑧選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業

【基本事業名：25203 地域資源を生かした産業振興】

予算額：(30) 9, 123千円 → (31) 7, 298千円

事業概要：東紀州地域の市町や関係団体が連携して行う地域産品の高付加価値化や販路拡大等、選ばれる東紀州地域を目指す取組を支援します。また、観光サービスのブラッシュアップ等、来訪者の満足度の向上を図る取組を支援します。

253 中山間地域・農山漁村の振興

①みえのみらいづくり塾開催事業

【基本事業名：25301 中山間地域等における持続可能なコミュニティづくり】

予算額：(30) 4,352千円 → (31) 4,303千円

事業概要：中山間地域等での、住民が主体となった地域づくり活動に意欲のある将来の担い手などを対象に、地域づくりに関するワークショップ手法の学習などを含む研修を市町と連携して実施し、今後の地域活動を担う人材を育成します。

②地域活性化支援事業【基本事業名：25302 過疎・離島・半島地域の振興】

予算額：(30) 3,143千円 → (31) 2,766千円

事業概要：過疎地域等条件不利地域において、魅力と活力ある地域づくりを推進するため、市町が行う住民の身近な生活課題を解決するための取組や地域の特色を生かした活性化の取組に対して支援します。

254 移住の促進

①(一部新) ええとこやんか三重移住促進事業

【基本事業名：25401 移住促進に向けた情報発信の推進】

予算額：(30) 37,421千円 → (31) 37,047千円

事業概要：「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心に、きめ細かな相談対応を行うとともに、新たに、移住希望者が地域の現状を知ったうえで課題解決のためのプランを提案する場をつくることなどにより、若者と地域の思いをつなぐきっかけづくりに取り組めます。

②移住促進のための市町支援事業【基本事業名：25402 移住受入体制の整備】

予算額：(30) 360千円 → (31) 289千円

事業概要：移住者を受け入れる市町の体制整備をさらに強化するため、県が把握した移住希望者のニーズを市町と共有するなど県と市町との連携を図る市町担当者会議を開催するとともに、移住促進の効果的な手法等を検討する研修会を実施します。

256 市町との連携による地域活性化

①地域づくり調整事業

【基本事業名：25601 市町との連携・協働による地域づくり】

予算額：(30) 22,649千円 → (31) 22,252千円

事業概要：「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の取組等により、住民に最も身近な自治体である市町との連携を強化して、市町や地域の実情に応じた地域づくりの支援に取り組みます。

②宮川流域圏づくり推進事業

【基本事業名：25601 市町との連携・協働による地域づくり】

予算額：(30) 2,912千円 → (31) 1,965千円

事業概要：地域が主体的に取り組む地域づくりを促進していくため、引き続き「宮川流域ルネッサンス協議会」に参画し、宮川流域圏づくりを推進します。

③市町振興事務費【基本事業名：25602 市町行財政運営の支援】

予算額：(30) 8,481千円 → (31) 6,661千円

事業概要：市町が行政事務を適正かつ的確に処理するとともに、安定的な財政運営を行うことができるよう、適切な助言や支援を行います。

④特定振興地域推進事業【基本事業名：25603 特定地域の活性化】

予算額：(30) 12,470千円 → (31) 12,236千円

事業概要：大仏山地域に整備した散策路等の適切な維持管理を行うとともに、将来の多様な主体の参画に向けた検討を進めます。

⑤木曾岬干拓地整備事業【基本事業名：25603 特定地域の活性化】

予算額：(30) 990,136千円 → (31) 1,460,062千円

事業概要：県土地開発公社が国から先行取得した土地の買戻し、排水機場の修繕や維持管理・わんぱく原っぱの維持管理等を行うとともに、土地利用計画に基づく土地利用に向けての取組を進めます。

⑥奥伊勢湖環境保全対策協議会負担金

【基本事業名：25603 特定地域の活性化】

予算額：(30) 5,000千円 → (31) 5,000千円

事業概要：奥伊勢湖環境保全対策協議会に参画し、奥伊勢湖の豊かな自然環境を守るための活動を支援します。また、宮川の流量回復等の課題については、宮川流域振興調整会議等を活用して検討を進めます。

352 公共交通の確保と活用

- ①地方バス路線維持確保事業【基本事業：35201 生活交通の維持・確保】
予算額：(30) 254,921千円 → (31) 272,067千円
事業概要：地域間を結ぶ幹線バスの運行経費等に国と協調して補助するほか、県の生活交通確保対策協議会、市町の公共交通会議等において、地域公共交通の維持・確保に取り組みます。
- ②鉄道利便性・安全性確保等対策事業
【基本事業：35201 生活交通の維持・確保】
予算額：(30) 152,456千円 → (31) 120,468千円
事業概要：地方自治体を含む中小鉄道事業者が行う鉄道の安全性・利便性の向上を図るための施設整備等や、鉄道事業者が行う施設の耐震対策について、国や沿線市町等と協調して支援します。
- ③伊勢鉄道基盤強化等対策事業
【基本事業：35203 広域交通ネットワーク機能の向上】
予算額：(30) 83,707千円 → (31) 61,477千円
事業概要：伊勢鉄道株式会社が行う安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国の制度も活用しながら関係市町等と連携して支援します。
- ④モビリティ・マネジメント力育成事業
【基本事業：35202 モビリティ・マネジメント力の向上】
予算額：(30) 847千円 → (31) 938千円
事業概要：「モビリティ・マネジメント」に関する研修や啓発、仕組みづくりに市町や交通事業者等と連携して取り組みます。また、自転車の活用に関する検討を進めます。
- ⑤航空関係費【基本事業：35203 広域交通ネットワーク機能の向上】
予算額：(30) 16,367千円 → (31) 16,379千円
事業概要：中部国際空港利用促進協議会や関西国際空港全体構想促進協議会等の活動を通じて、本県へのインバウンドの増加等に資する両空港の利用促進や機能の充実などに取り組みます。

⑥ (一部新)リニア中央新幹線関係費

【基本事業：35203 広域交通ネットワーク機能の向上】

予算額：(30) 9,000千円 → (31) 9,000千円

事業概要：三重・奈良・大阪ルート及び県内駅位置の早期確定や東京・大阪間の早期全線開業に向け、関係府県、経済団体等と連携してJR東海のリニア事業に協力します。また、県内の機運醸成に取り組みます。

354 水資源の確保と土地の計画的な利用

①工業用水道事業会計出資金

【基本事業名：35401 水資源の確保と水の安全・安定供給】

予算額：(30) 298,364千円 → (31) 276,009千円

事業概要：県勢振興のため先行的に確保している水源の工業用水に係る管理費等について、一般会計から工業用水道事業会計に出資します。

②地籍調査費負担金【基本事業名：35402 土地の基礎調査の推進】

予算額：(30) 227,202千円 → (31) 399,669千円

事業概要：土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍の明確化を図ることとし、地籍調査を実施する市町に対して、その取組を支援します。また、防災・減災等に向けた社会資本整備を計画している地域において、事業効果の早期実現や災害からの迅速な復旧・復興に資する地籍調査を実施する市町に対して、その取組を支援します。

行政運営6 情報システムの安定運用

①(一部新)情報ネットワーク維持管理費

【基本事業名：40601 行政WAN等の基幹ネットワークの安定した運用】

予算額：(30) 388,878千円 → (31) 304,921千円

事業概要：情報ネットワークの安定運用に努めるとともに、より費用対効果が大きく、信頼性の高い次期ネットワークの構築に取り組みます。さらに、次期ネットワークにおいて働き方改革を推進するため、多様な働き方の実現に向けた実証研究に取り組みます。

②IT投資の効率化事業【基本事業名：40602 全庁の情報システム適正化】

予算額：(30) 77,399千円 → (31) 207,855千円

事業概要：各部局が保有している情報システムの適正化を図るため、外部専門家の助言を受けながら、PDCAサイクルによるシステムの審査、評価、支援を行うとともに、統合サーバ等の共通機能基盤の再構築に取り組みます。

③申請・届出等オンライン受付システム整備推進事業

【基本事業名：40603 ITを利活用した行政サービスの提供】

予算額：(30) 17,800千円 → (31) 17,997千円

事業概要：電子申請・届出システムの安定運用や利用拡大に努め、いつでも、どこからでも県の行政手続きができるよう行政サービスの提供に取り組みます。

④地域情報化推進事業

【基本事業名：40604 情報通信環境の格差是正と市町の支援】

予算額：(30) 76,550千円 → (31) 322,068千円

事業概要：県全域の共有デジタル地図の更新に向けて、市町と共同で整備を進めます。また、携帯電話の不通話地域の解消等に取り組むとともに、市町の自治体クラウド導入に向けた働きかけを行います。

(2) 事業の見直し

	事業本数	増減額 (千円)
廃止事業	2	△ 5,500
リフォーム	3	146,296
休止事業	2	△ 3,078
合計	7	137,718

事業の見直し調書

(注) 調書の各記号の意味は、以下のとおりです。

「●」…「三重県財政の健全化に向けた集中取組(素案)」の方針に基づくもの

「◇」…平成28年度特定政策課題枠のもの

「□」…平成29年度特定政策課題枠のもの

「◎」…市町予算と関係があると思われるもの

「▲」…いわゆる「当然減」によるもの

「△」…リフォーム事業のうち、リフォームにより事業本数が削減するもの

●◇□◎▲△	番号	基本事業番号	事業名	区 分			平成30年度 当初予算額A	平成31年度 当初予算額B	差 引 B-A	削減 本数	説 明	部署名
				廃止	リフォーム	休止						
△	1	241	24102		1		581,168	839,130	257,962	1	事業をより効率的に実施するため、第76回国民体育大会開催準備事業費と第21回全国障害者スポーツ大会開催準備事業費を統合し、三重とこわか国体・三重とこわか大会開催準備事業費として実施する。	地域連携部
▲	2	241	24103			1	545	0	▲ 545	1	指定管理者選定作業が終了したことにより休止する。	地域連携部
◎	3	251	25101	1			5,000	0	▲ 5,000	1	ライダー誘致に向けた地域PRに取り組むことで一定の成果が得られたことから廃止する。	地域連携部
◎	4	251	25102	1			500	0	▲ 500	1	高校生に対する地域学習を通じた人材育成に取り組むことで一定の成果が得られたことから廃止する。	地域連携部
△	5	252	25202		1		353,703	69,570	▲ 284,133	1	平成30年度に紀南中核的交流施設整備事業支援補助金の補助年度が終了することに伴い、熊野古道センター運営事業費と紀南中核的交流施設整備事業費を統合する。	地域連携部
△	6	354	35402		1		227,202	399,669	172,467	1	事業をより効率的に実施するため、社会資本整備円滑化地籍整備交付金と地籍調査費負担を統合する。	地域連携部
▲	7	354	35402			1	2,533	0	▲ 2,533	1	国土交通省が5年に1度実施する調査を県が受託するものであり、次回調査実施まで事業を休止する。	地域連携部
合計				2	3	2	1,170,651	1,308,369	137,718	7		

(3) 平成31年度当初予算要求 新規事業一覧 (一般会計)

事業名の前に付いている各記号の意味は、以下のとおりです。

「※」…一部新規を含むもの(事業費は新規分のみを計上)

「◎」…市町予算と関係があると思われるもの

「◇」…平成31年度特定政策課題枠のもの

「☆」…平成30年度当初予算に計上されていないものであり、周期的な行事(国政選挙や持ち回りのイベント等)、隔年調査、平成29年度2月補正予算の実施事業で平成31年度当初予算において継続実施する事業など、当初予算比で事業本数が増加するもの

(注)…「事業費」欄は、「☆」に相当する事業費を除いています。

(単位:千円、本)

施策番号	部局名	事業名称		事業費	増加事業本数 (H30当初→ H31当初)
241	地域連携部	※	競技力向上対策事業費	25,000	
242			第2次三重県スポーツ推進計画推進事業費	864	1
242		◇	東京オリンピックに向けた「オール三重」推進体制構築事業費	31,460	1
252		※ ◇	世界と結ぶ東紀州インバウンド事業費	8,038	
252		◇	地域の誇り次世代継承プロジェクト事業費	5,000	1
252			熊野古道世界遺産登録15周年事業費	10,000	1
254		※ ◇	ええとこやんか三重移住促進事業費	36,000	
352		※ ◇	リニア中央新幹線関係費	3,940	
行運6		※ ◇	情報ネットワーク維持管理費	10,522	
行政委員会		◎ ☆	参議院議員選挙費	0	1
行政委員会		◎ ☆	参議院議員選挙臨時啓発費	0	1
			地域連携部 計	130,824	6

(4) 平成31年度特定政策課題枠事業一覧表

(1) 災害に強い地域社会をつくるために 該当なし

(2) 誰もが安心して暮らし続けられるために 該当なし

(3) 若者の県内定着につなげるために

(単位：千円)

部名	施策	細事業名	事業概要	事業費
地域連携部	252	世界と結ぶ東紀州インバウンド事業費	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を有する三重県・奈良県・和歌山県が連携して大都市圏でのシンポジウムや三県を巡るスタンプラリーなどの誘客促進に取り組むとともに、インバウンドを県内外から東紀州地域へ周遊させる取組を行います。また、愛知県、岐阜県等と連携し、東京オリンピック・パラリンピックなどを見据えて、海外の富裕層をターゲットとした情報発信・誘客促進に取り組めます。	9,380
地域連携部	252	地域の誇り次世代継承プロジェクト事業費	熊野古道や周辺地域の豊かな自然、歴史、文化等の価値を次世代に継承するため、東紀州地域の小・中学生が地域に古くから伝わる技術や伝統を体験したり、地元高校生が地域の魅力を発掘し外国人等を対象にツアーを企画する取組を行います。	5,000
地域連携部	254	ええとこやんか三重移住促進事業費	「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心に、きめ細かな相談対応を行うとともに、市町や関係団体、企業等さまざまな主体と連携・協力し、仕事を通じた自己実現を重視する若者と地域の思いをつなぐきっかけづくりに取り組めます。	36,000
地域連携部	行運6	情報ネットワーク維持管理費	次期ネットワークにおける働き方改革の本格実施を見据え、ICTを活用した業務プロセス・イノベーションの一環として、モバイルワークの導入についての実証研究に取り組めます。	10,522
小 計				60,902

(4) 強みを生かし国内外から選ばれ続けるために

(単位：千円)

部名	施策	細事業名	事業概要	事業費
地域連携部	352	リニア中央新幹線関係費	三重・奈良・大阪ルート及び県内駅位置の早期確定や東京・大阪間の早期全線開業に向け、関係府県、経済団体等と連携してJR東海のリニア事業に協力します。また、県内の機運醸成に取り組めます。	9,000
小 計				9,000

(5) スポーツを通じて元気な地域社会をつくるために

(単位：千円)

部名	施策	細事業名	事業概要	事業費
地域連携部	242	東京オリンピックに向けた「オール三重」推進体制構築事業費	東京オリンピックキャンプ地誘致の一環としてキャンプ地誘致の支援を行うとともに、カナダ応援事業等を実施します。また、聖火リレーについて、県内市町ほか関係機関等と連携し、本県独自の「出発式」「ミニセレブレーション」等聖火リレーの運営準備を進めます。	22,552
小 計				22,552

特定政策課題枠 合計 ((3) + (4) + (5))				92,454
------------------------------	--	--	--	--------

(5) 「業務改善に向けた有識者懇談会（ブラッシュアップ懇話会）」での有識者からの意見と当初予算要求への反映状況等等

施策242：地域スポーツと障がい者スポーツの推進

主担当部局：地域連携部（国体・全国障害者スポーツ大会局）

基本事業	事務事業	ご意見	当初予算要求への反映状況等
24201 地域スポーツの 活性化	地域スポーツ推進事業費	<p>・「平成29年度事業マネジメントシート」において、細事業名「地域スポーツ推進事業費」の「取組内容等」の中に、さらに同じような名称の「地域スポーツ推進事業」が「スポーツ推進審議会」などと並んで入っているのは、分かり辛いように思う。</p> <p>・スポーツ推進月間の設定やオリンピック・パラリンピックのキャンプ地の誘致及びJリーグ誘致などだけでは、個人の運動・スポーツ実施率の向上には直接つながらないと思う。</p> <p>・運動・スポーツを「する人」と「しない人」の間には、そもそも行動メカニズムの違いがあると考えられるので、それぞれを分けて分析すべきである。</p> <p>・「30-40代の運動率が低い」「女性の運動・スポーツ率は低い」状況に対して、単なるPR活動だけでは状況は変わらないと思う。つまり、運動しなければいけないのは分かっているかもしれないのが現状であるので、その実態と原因をきちんと調べることで、対策が見えるのではないだろうか。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブの会員数は目標値をほぼ達成しているが、会員の中で成人の会員数を把握する必要があると思われる。</p>	<p>○県民の皆さんに分かりやすい事業名となるよう、名称を変更します。</p> <p>・これらの取組のほか、総合型地域スポーツクラブの安定した運営と定着に向けた支援や、「みえスポーツフェスティバル」や「美し国三重市町対抗駅伝」の開催など、スポーツを「する」「みる」「支える」ためのさまざまな取組を総合的に推進します。</p> <p>○スポーツを「する人」と「しない人」の間にある行動メカニズムの違いや、「しない人」の実態と原因について、適切に分析する必要があると考えています。いただいた意見や国のアンケート結果等をふまえ、eモニターや職員アンケートを有効活用するなど、限られた予算の中でも効果的・効率的な調査・分析となるよう取り組みます。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの支援にかかる取組を行うにあたり、「成人会員数」の把握は重要であるため、来年度の定期調査から「成人会員数」を加えることとします。</p>
	地域スポーツイベント開催事業費	<p>・9月、10月が「スポーツ推進月間」であることが県民に周知されていないように思う。また、スポーツフォーラムやスポーツフェスティバルの地域住民への啓発活動が必要であると思う。</p>	<p>○効果的・効率的な啓発となるよう啓発媒体の見直しを行った結果、ポスターを廃止し、啓発効果の高いデザインによるチラシの製作にかかる予算を要求しています。また、地域住民への啓発活動についても、企業等との包括協定を活用したり庁内外イベントと連携することにより、啓発効果が相乗的に高まるよう取り組みます。</p>
	スポーツを通じた地域の活性化支援事業費	<p>・キャンプ地を「いつでも多く」誘致することが、費用対効果という点からも本当に県民のためになるのか、疑問に感じる。オリンピック等の事前キャンプや、競技団体の合宿などを、行政主導で誘致すること自体が目的化しないように気をつけ、常に、無駄な支出を生んでいないか検証し続けて欲しい。</p> <p>・スポーツで地域を活性化する方法を見直す必要があると思う。また、活性化には資源（人・物・資金）を獲得する必要があり、単発のイベント開催より合宿誘致等の継続的な取組が必要である。</p>	<p>・キャンプ地誘致には、地元アスリートのスキルやモチベーションの向上、国際交流の推進、住民の一体感や盛り上がりなどの機運の醸成等、地域スポーツの推進にさまざまな効果が挙げられるものと考えていますので、今後も1つでも多くの誘致実現に向けて、引き続き関係市町等と連携して取り組みます。また、キャンプ地誘致が目的化せず、無駄な支出にならないよう検証していきます。</p> <p>○スポーツの推進によって地域活性化が図られるよう、イベント・合宿の誘致等について、単発的なものと継続的なものを複合的、効果的に実施していきます。また、「みえスポーツフェスティバル」や「美し国三重市町対抗駅伝」など従来のイベントの開催に向けて引き続き市町等と連携して取り組むとともに、大規模大会や合宿の誘致に取り組む市町を積極的に支援していきます。</p>
24202 障がい者スポーツの 充実・強化	障がい者スポーツ推進事業費	<p>・なぜ、三重とこわか大会に向けて「選手の育成」を行う必要があるのかが明確でないように感じる。あくまでも、障害者スポーツは、障害者の方の自立と社会参加を促すための一つの手段にすぎないはずなのに、障害者スポーツの大会自体が目的化してしまっていないか見直しが必要である。</p> <p>・大会でどこの県の選手が活躍していても、障がい者が見て、モチベーションとなり社会参加につながればそれで良いのではないか。大会に出場する選手を育成することにお金をかけるよりも、障がい者が社会参加をしていけるよう、裾野を広げていくことの方が大事であると思われる。</p>	<p>・障がい者スポーツは、障がいのある人の自立と社会参加の推進に大きな役割を担っています。近年、パラリンピックをはじめとして障がい者スポーツの注目度も増しているところであり、三重とこわか大会において、三重県選手が力いっぱい競技に取り組むことは、障がいのある人のスポーツへの参加意欲の向上につながるのと同時に、県民に大きな感動を与え、県民の障がいに対する理解に寄与するものと考えています。</p> <p>このため、三重県からより多くの障がい者スポーツ選手が三重とこわか大会に参加し、スポーツの楽しさを体験するとともに、選手のもつ力を十分に発揮できるよう、選手の育成に取り組めます。</p> <p>また、東京パラリンピックや三重とこわか大会の開催に向けて障がい者スポーツへの関心が高まる中、障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、障がい者スポーツの普及・啓発に取り組む、障がい者スポーツの裾野の拡大を図ります。</p>

注)○は当初予算要求に反映したものを示しています。

施策242：地域スポーツと障がい者スポーツの推進

担当部署：地域連携部（国体・全国障害者スポーツ大会局）

	ご意見	当初予算要求への反映状況等
施策に関する総合的な意見	・県民一人ひとりがスポーツを「する」「みる」「支える」ようになることを県として推進するのは、あくまでも県民の心身の健康増進や地域の活性化等に貢献するためであり、スポーツを「する」「みる」「支える」ことを強要するような同調圧力が高まって心の健康を害するようなことのないように配慮してほしい。	・県民の皆さんがスポーツに関心を持ち、自らすすんでスポーツを「する」「みる」「支える」人が増えるよう、さまざまな取組を進めます。
	・活動指標（24201及び24202）の目標はクリアしているのに、県民指標の目標が達成していない。つまり、県民指標と活動指標がリンクしていないことに対する説明が必要である。	・県民指標を達成するためには、県の取組も含め、多くのさまざまな要因が考えられることから、活動指標の達成と完全にリンクする指標を設定することは困難です。そのため、県民指標は多くの県民の皆さんが運動・スポーツに取り組んでもらうことを考えて設定しており、県の基本事業の取組の成果を示す活動指標は、施策の推進に資する代表的なものを設定しました。
	・県民指標の目標項目は、活動指標を網羅できるもので設定されるべきである。つまり、手段と目的の合理性に則った目標設定が求められる。	
	・成人の週1回以上の運動スポーツ実施率について、平成28年度までは三重県が国のデータを上回っていたのが29年度で逆転しているのは、調査方法の違いによるところが大きいと思う。	○県の調査においても、国の調査方法を参考として、「ひと駅歩き」や「階段を使う」なども運動である、といった運動・スポーツの定義をより具体的に例示するなど、県民の皆さんにとってわかりやすい調査方法を検討します。また、運動・スポーツの実施にかかる啓発活動の中においても、定義の具体的な例示に努め、県民の皆さんの理解を促します。
	・企業や団体に向けてスポーツ実施を啓発し、就業時間中や就業後にスポーツ実施を促す必要がある。	・企業等との連携は重要な視点であるので、企業・団体等の就業時間中や就業後の運動・スポーツ実施を促すような働きかけなど企業等との連携方法について、検討していきます。
	・県内の総合型地域スポーツクラブに対し、中高年者も含めた成人対象のスポーツ教室や大会の開催を促すことと、総合型地域スポーツクラブと企業が連携して、指導者派遣等が可能となるような取組が必要である。	・成人対象のスポーツ講座等が増えるよう、総合型地域スポーツクラブに働きかけるとともに、クラブでの指導者養成に関する企業等との連携方法について、検討していきます。
	・県内の多くの大学でボランティアスタッフの派遣が実施されているが、企業や総合型地域スポーツクラブが大学生のボランティアスタッフを活用してスポーツ教室やイベントが開催出来るような環境づくりが必要である。	・県内のさまざまなスポーツイベントに「みえのスポーツ応援隊」を派遣しているところですが、企業や大学等との連携は重要な視点であるので、企業や総合型地域スポーツクラブが主催するイベント等における大学生のボランティアスタッフの活用についても、今後検討していきます。
	・スポーツにも色々あるが、特に健康スポーツ、レクリエーションスポーツといった誰でも出来るスポーツの実施を促すことで、スポーツへの関心を高めることが重要であると感じる。	○健康づくりなどの取組と積極的に連携し、運動・スポーツを身近に感じてもらえるよう取り組むとともに、レクリエーションスポーツの普及啓発については「みえスポーツフェスティバル」の充実を図るなど、県民の皆さんが気軽にスポーツに参加できる環境づくりを進めます。
	・地域スポーツの活性化には、オリンピックや国体等のイベントで盛り上がった後が大事であると思う。継続してスポーツが出来る環境整備や年間を通じた合宿誘致、スポーツツーリズム等の施策が必要である。	○県内のスポーツ合宿や大会の誘致などにより、地域活性化や交流促進につながるものと考えられるため、このような取組を進める市町を支援していきます。また、競技団体等と連携して合宿や大会を誘致することにより、スポーツによる誘客交流をめざします。
・国のスポーツ基本計画においても、スポーツを「する」「みる」「支える」が重要とされており、総合型地域スポーツクラブの育成などが示されている。総合型地域スポーツクラブが地域活性化につながるような活動ができることが大切であり、県においてどのようにそれを実現するかが重要である。例えば熊野市がスポーツ合宿の誘致に力を入れて成功しており、他のいろいろな産業の活性化にもつながっている。県内の他の地域においても合宿等の誘致によりスポーツが地域の活性化に資するよう、取組を進めるべきである。	○総合型地域スポーツクラブが、あらゆる世代の人々にとってスポーツに親しむ場として有効に機能するよう、引き続きクラブアドバイザー派遣などの支援を行います。加えて、総合型地域スポーツクラブの新たな役割として、合宿や大会の誘致など地域活性化につながる取組も積極的に進めるよう、働きかけていきます。	

注)○は当初予算要求に反映したものを示しています。